

# 「TSHグリーンファイナンス・フレームワーク」について

令和8年(2026年)2月

札幌市まちづくり政策局 グリーントランスフォーメーション推進室  
事業担当課長 横川 宗幸

# Team Sapporo-Hokkaido(TSH)の設立

## 2023年4月15日「G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合」

G7大臣会合の札幌開催の機会を捉え、脱炭素を通じて  
エネルギーの地産地消と道内経済の活性化、  
日本及び世界のGXに貢献していくことについて、  
**「脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言」**を発表



## 2023年6月23日 GX・金融コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」設立

今後10年間で150兆円超ともいわれるGXの官民投資、  
それに呼応した投資を世界中から呼び込むため、  
様々な取組を推進することを目的に、  
**产学研官金21機関によるコンソーシアムを設立**



GXで世界の先頭へ



Team Sapporo-Hokkaido

### 官公庁

札幌市  
北海道  
金融庁  
経済産業省  
環境省  
北海道財務局  
北海道経済産業局  
北海道地方環境事務所

### 大学

北海道大学

### 経済界

北海道経済連合会  
北海道商工会議所連合会  
札幌証券取引所

### GX関連事業者

北海道電力  
北海道ガス

### 金融機関

北洋銀行  
ほくほくフィナンシャルグループ  
三菱UFJ銀行  
みずほ銀行  
三井住友銀行  
日本政策投資銀行  
脱炭素化支援機構

# GX投資を呼び込むためのこれまでの取組

(GX 金融・資産運用特区」指定の経緯と国の動き)

## 国の動き・特区関連の動き

### G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合

「脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言」を発表

### 特区指定

道・市が金融・資産運用特区に決定(6/4)

道全域が国家戦略特区に指定(6/26)

### 北海道国家戦略特別区域 区域計画認定

### GX2040ビジョン策定

再エネが豊富な地域に産業集積を進める方針が示される

### 道内初の洋上風力の促進区域指定

松前沖及び檜山沖の区域が、  
洋上風力発電事業の促進区域に指定される

## 市の動き

2023年  
● 4月

6月

2024年  
● 6月

1月

### GX金融コンソーシアム

### Team Sapporo-Hokkaidoを設立

北海道や札幌市、(株)北洋銀行や(株)北海道銀行などの産学官金21機関で構成

### ● GX金融・資産運用特区を提案

2023年12月に国の金融・資産運用特区創設の発表を受け、2024年1月に国に提案

● 10月

### 札幌海外企業受入 ワンストップ窓口設置

● 12月

### ● GX推進税制施行

● 2月

### TSHグリーンファイナンス・フレームワーク 運用開始

● 7月

2025年度中

### ● GX情報プラットフォーム運用開始(予定)

特区の指定まで  
(2023.4～2024.6)

GX投資を呼び込む環境整備  
(2024.7～)

# TSHグリーンファイナンス・フレームワークと GX情報プラットフォーム

国内外からの投資を呼び込む TSHの取組として、北海道庁や札幌証券取引所等と連携し、 TSHグリーンファイナンス・フレームワークを策定、 GX情報プラットフォームを構築中

## TSHグリーンファイナンス・フレームワーク

- ・定量的な基準を定め、資金提供者が客観的な判断材料を得られる環境を整備
- ・脱炭素への貢献度を示すグリーン基準と、地域との共生を示す地域サステナビリティ基準の2つを持つ制度に
- ・グリーン基準は国際的な枠組みを参考して海外投資家への訴求を狙う
- ・洋上風力発電や蓄電池など早期の投資が見込まれる4分野から運用を開始



フレームワーク  
を活用し  
→  
投融資を促進



2024年12月には世界的に GX分野をリードする国際 NGO 「クライメート・ボンド・イニシアチブ」と北海道・札幌市の3者で共同声明を発表。  
フレームワークの公表にあたっては、GXを推進する上で有用なものであるとの CEOからの応援コメントを受領。

## GX情報プラットフォーム(開発中)

投資家

北海道内のGX関連情報を  
一括して閲覧可能に

金融  
機関

GX  
事業者



GX事業  
情報

金融商品  
情報

地域  
など

事業情報やフレームワークとの  
整合をプラットフォームで発信

様々なステークホルダーを結び付け、投資市場とGX産業の継続的な成長を実現

## ■目的

定量的な基準を定めたフレームワークを策定することで、**国内外の資金提供者が客観的な判断材料を得られる環境を整備**し、道内GX投資市場の信頼性と魅力を向上させる  
 →独自の **①国際的に通用するグリーン基準**、**②地域との共生を示す地域サステナビリティ基準** を設定。GX事業が円滑に進むための資金調達環境を整え、持続可能かつ健全な投資市場を形成する

◆グリーン基準			◆地域サステナビリティ基準		
評価ラベル	定義	主な参考規準	評価ラベル	項目	
グリーンプレミアム	気候変動緩和の特筆すべき改善効果がみられる または 適用可能な国際グリーン基準※を満たし、気候変動緩和以外の5つの環境目標のグリーン基準のうち1つ以上を満たす	クライメートボンド基準(CBS) EUタクソノミー	満たした項目数に応じて S7～S3	必須	①環境影響評価 ②地域理解の醸成
グリーン	適用可能な国際グリーン基準を満たす				③地域課題解決・ 地域振興
トランジション	将来的に国際グリーン基準を満たす具体的な計画があり、現時点で利用可能な最善の技術を用いている(日本のGXロードマップや分野別ロードマップに整合している)	GX推進戦略 分野別技術ロードマップ	1つ以上満たす必要あり		④地域活動への参画 ⑤雇用数 ⑥調達比率 ⑦付加価値創出額

※ 国際グリーン基準:運用開始時は以下の早期拡大が見込まれる4分野について、クライメートボンド基準(CBS)及びEUタクソノミーを参考基準として採用する。

- ・クライメートボンド基準(CBS):洋上風力発電、水素、蓄電池
- ・EUタクソノミー:洋上風力発電、水素、データセンター、蓄電池

なお、今後設定予定の分野については、設定時点で適用可能な国際グリーン基準(クライメートボンド基準(CBS)、EUタクソノミーなど)を採用する。また、各基準を参考する際は、各基準で求められる要素(例:算定方法、DNSHなど)に対して同等または類似の国内の法令や条例、規制やガイドラインを採用する場合がある。

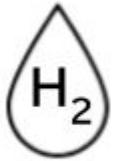
※ 地域サステナビリティ基準及び対象分野ごとの詳細は、別途【サブフレームワーク】を参照。

## ■対象事業(先行して設定した4分野)



## 洋上風力発電

北海道での導入目標は国の導入目標の1/3に相当する15GW。風車、基礎など部品が多岐にわたり、多くの事業者参入に期待



## 水素

利用段階でCO<sub>2</sub>を排出せず、エネルギー効率が高い。水素エネルギーの地産地消により、災害に強い地域づくりにも寄与



## データセンター

冷涼な気候を生かし、北海道内で立地が増加中。国からは東京・大阪圏を補完するデジタルインフラの中核拠点に位置付けられている



## 蓄電池

再エネ由来電力の安定化、最大限活用のために需給調整役を担う。地域のレジリエンス強化にも貢献

Team Sapporo-Hokkaidoが進める、重点8分野及び北海道地球温暖化防止対策条例に規定する再生可能エネルギーの関連事業のうち、事業の早期拡大が見込まれる4分野から先行して評価基準を設定。

(8分野はこの他に、次世代半導体、合成燃料(SAFなど)、海底直流送電、電気及び水素運搬船)

今後、対象を順次拡大する予定。

## ■評価取得・レポーティングの流れ

○フレームワークへの整合は、事業者の表明に対し、事業者が選定した外部レビュー機関※1が第三者評価を提供することで判定される。

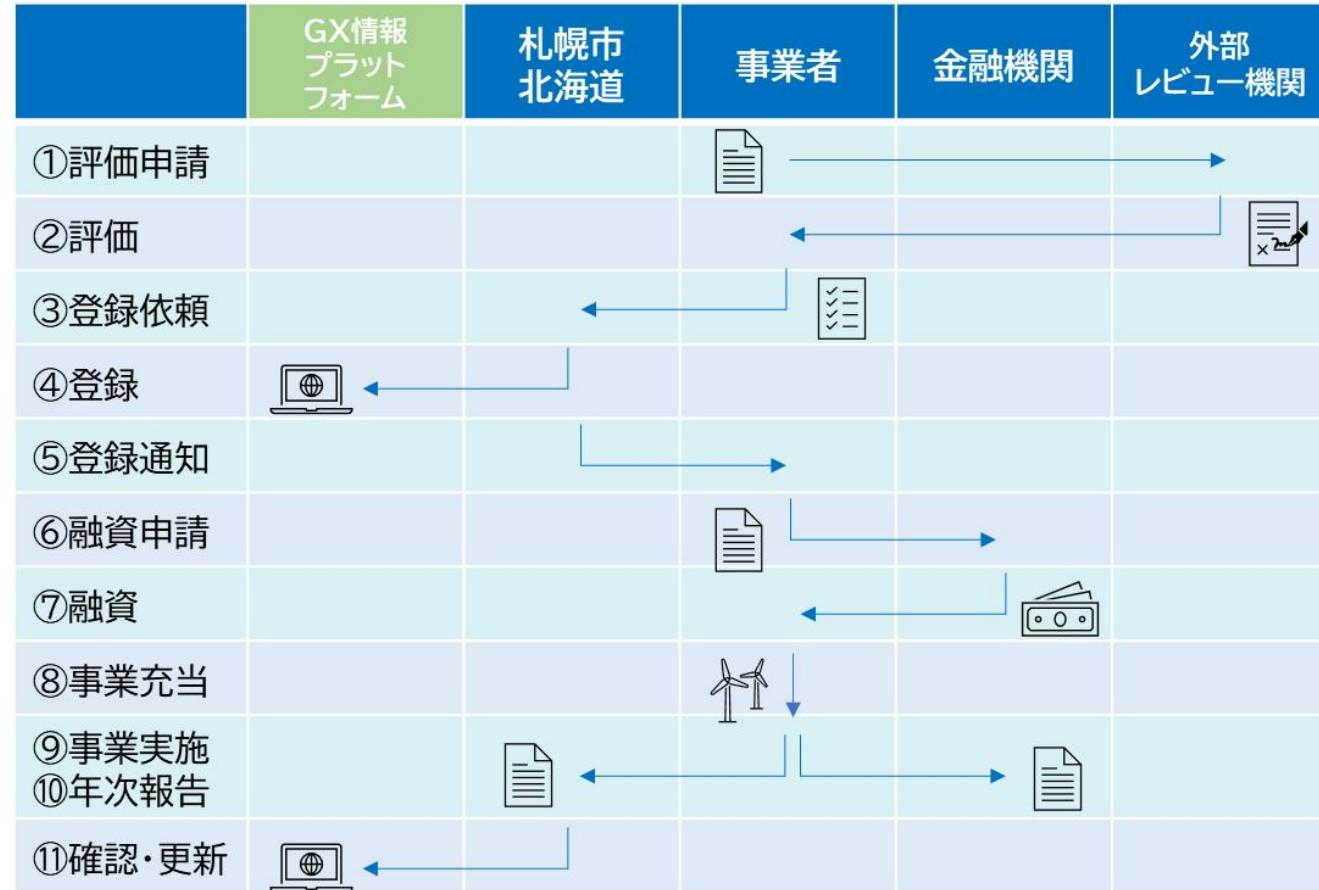
○事業者は、第三者評価を取得したGX事業をGX情報プラットフォーム※2へ登録する場合、登録依頼書等の提出が求められる。札幌市・北海道が確認の上、GX情報プラットフォームへ登録。

○登録された事業を行う事業者は、毎年、レポーティング(年次報告書)の提出が求められる。

※1 「グリーンプレミアム」「グリーン」のラベルについては、ICMAの外部レビューまたはCBI認定検証機関として登録されていることが求められる。

「トランジション」においては、上記に加え環境省のグリーンサポート制度における発行支援者(レビュー部門)として登録している機関、または金融庁のESG評価・データ提供機関に係る行動規範に賛同している機関による第三者評価も有効とする。

※2 GX情報プラットフォームの開設までは、Team Sapporo-Hokkaidoのホームページなどでの情報発信を予定。



詳細は、<https://tsh-gx.jp/staticpage/tsh-gffw/>に掲載  
されている、マスターフレームワーク、サブフレームワークをご参照  
ください。



<お問合せはこちら>

Team Sapporo-Hokkaido事業推進協議会事務局  
(札幌市まちづくり政策局GX推進室)

担当:横川・松永・吉本

011-211-2422 / [gx-project@city.sapporo.jp](mailto:gx-project@city.sapporo.jp)



# 札幌市GX金融促進制度(補助金)について

札幌市は、北海道内でGX事業を行う事業者の資金調達に際し、第三者評価の取得にかかる費用等を支援する補助金を創設しました。本補助金により最大3/10を補助し、国の支援と合わせて最大6/10が支援されます。

この制度は、札幌市内の金融機関がGX金融のノウハウを蓄積することにより、金融機能を強化することを目的として創設されました。ぜひ積極的にご活用を検討くださいますよう、お願ひいたします。

詳細は札幌市公式ホームページ  
<https://www.city.sapporo.jp/kikaku/gx/sokushinhojokin.html> をご参考ください。



前提条件(いずれも満たす必要あり)		
グリーンファイナンス、トランジションファイナンスにおいて第三者評価を取得し、資金用途に北海道内の事業を含む	札幌市内の金融機関を通じた資金調達	環境省の補助金または経済産業省の補助金(補助率3/10)の交付決定を受けている



対象要件(①～③は併用可)	補助率
① 札幌市内に本店がある金融機関を通じた資金調達	1/10
② 資金用途が札幌市内の事業 又は 札幌市内に本店がある事業者の資金調達	1/10
③ Team Sapporo-Hokkaido グリーンファイナンス・フレームワークの活用	1/10

④ 北海道ESGプロボンドマーケットへ上場した場合	新規上場手数料の9/10(45万円)補助
---------------------------	----------------------

※④は前提条件および少なくとも①～③のいずれかを満たした金融商品が対象

## 【お問い合わせ】

札幌市まちづくり政策局グリーントランジションフォーメーション推進室

担当:横川・松永・吉本 011-211-2422/gx-project@city.sapporo.jp

最大3/10  
国の補助金  
と合わせて  
最大6/10  
補助